

開講科目名 / Course	生体構造・機能論
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 1 学期 / First
開講区分 / semester offered	1 学期、2 学期 / First,Second
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1
主担当教員 / Main Instructor	濱中 良志
担当教員名 / Instructor	濱中 良志、坪内 優太
必修・選択 / compulsory subject	必修
講義形態 / Class Type	講義
授業回数	20
科目の目的と概要	高度に統合された生命体である人体の構造と機能を学ぶことにより看護の現場における患者の抱える疾患を理解し、質の高いケアを提供できる能力を養うことを目的とする。人体を構成する各々の臓器を構造的・機能的な視点から肉眼的な視点に至るまで学習し、各臓器の相互関係についても理解を深める。
到達目標	1. 神経系・感覚器・消化器・内分泌を中心に人体のホメオスタシスについて説明できる。
DPとの対応	2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、6.探究心と創造力
授業計画	01. 神経 (1) 神経系の構造と機能 02. 神経 (2) 運動神経と感覚神経 03. 神経 (3) 脊髄神経と脳神経 04. 神経 (4) 神経系の病態生理 05. 感覚器の構造と機能 06. 疼痛の病態生理 07. 骨・筋肉の構造と機能 08. 骨・筋肉の病態生理 09. 神経系・感覚器・骨・骨格筋の習熟度チェックと総括 10. 生体防御 (1) 生体バリア、体温調節、自然免疫に関わる細胞と機能 11. 生体防御 (2) 抗原提示、獲得免疫に関わる細胞と機能 12. 消化器 (1) 口・咽頭・食道の構造と機能 13. 消化器 (2) 消化器 腹部消化器の構造と機能 14. 消化器 (3) 肝臓・胆のうの構造と機能 15. 消化器 (4) 膵臓の構造と機能 16. 内分泌 (1) ホルモンの特徴、視床下部、下垂体から分泌されるホルモンと分泌調節 17. 内分泌 (2) 副甲状腺、甲状腺から分泌されるホルモンと分泌調節 18. 内分泌 (3) 副腎から分泌されるホルモンと分泌調節 19. 生殖 生殖器の構造と機能 20. 生体防御・消化器・内分泌・生殖器の習熟度チェックと総括 実施する順番については、変更する場合がある。
その他の授業の工夫	配信動画による事前学習を前提として授業を組み立てる。
時間外学修	YouTube の配信動画 (HAMANA+K+チャンネル; 心電図: 暗記からの卒業シリーズ、国試対策: 暗記からの卒業シリーズ https://www.youtube.com/channel/UCTSwGFAu2uGIfaCVi6zSwcQ) の授業の該当箇所を視聴して事前学修 (18h) 及び授業後の復習 (20h) とする。
評価方法と評価割合	筆記試験による評価: 80% 動画での予習・復習における学習評価: 20%
テキスト	1) 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] (第10版) (医学書院) 2) 病気がみえる vol.1~8 (メディックメディア) 3) 病気がみえる vol.11 (メディックメディア)
参考書	
履修する上で必要な要件	
その他	・本科目は、「生体構造・機能論I」の学習と連携している。「生体構造・機能論I」で学んだ内容も重複して含まれているので、関連性をその都度確認しながら学習を進める。 ・本科目で扱う内容を十分理解するには、予習、復習が必要である。予習、復習の仕方については1回目の講義のなかで説明する。

教員の実務経験	有・無	有
	内容	濱中良志：臨床医（外来と当直業務） 坪内優太：理学療法士としての臨床系経験
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	臨床の場で体験した事例を基にして授業を行う。	